

市立福知山市民病院で早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）を受けられた患者様・ご家族の皆様へ

早期胃癌の診断に関する後向き検討へのご協力をお願い

今回、市立福知山市民病院消化器内科は、早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層切除術(ESD)を受けられた患者様に関する後向き検討を実施いたします。そのため、過去に市立福知山市民病院で受けられた上部消化管内視鏡検査の結果を過去にさかのぼって調査させていただきたいと考えています。

#### 研究の目的

近年胃癌は診断学の進歩や内視鏡の性能向上で早期診断されることが多くなりました。しかし、定期的に内視鏡検査を受けている方でも、前回まで病変の指摘がなかったにも関わらず、経過中に癌が発見されることは少なくありません。このように直前の内視鏡検査で腫瘍が発見されていなかった内視鏡検査の「偽陰性例」に関してこれまでは十分な知見が得られていませんでした。今回、早期胃癌「偽陰性例」の特徴について検討を行うことで早期胃癌発見のための効率的な検査法を確立できないかと考えています。

#### ・対象となる患者様について

当院で 2013 年 1 月から 2019 年 5 月までに、当院で発見された胃腫瘍に対して内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）を施行され、病理検査で早期胃癌と確定された約 220 名が対象となります。

#### ・方法について

対象となる患者様の診療録を過去に遡って調査させていただきます。対象患者様の臨床情報（年齢・性別・ヘリコバクター・ピロリ菌除菌歴）、内視鏡所見および情報（病変の部位、形状、色調、背景粘膜、内視鏡の種類、色素散布や鎮静剤使用の有無、検査医の熟練度、検査時間、撮影枚数）、切除した標本の病理所見（組織型、大きさ）、血液検査所見（ピロリ血清抗体価）、その他検査所見（尿素呼気試験）を抽出します。抽出された情報は、個人情報 を消去し匿名化されます。

#### ・資料の管理について

情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧は可能です。ご希望の方は下記の連絡先までご連絡ください。

ご自分、あるいはご家族の情報を本研究に登録したくない場合は、情報が当該研究に用いら

れることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には  
研究対象としますので、令和1年12月31日までに下記連絡先までご連絡ください。そ  
の場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。なお上記までに申し出がなかつ  
た場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

本研究は、市立福知山市民病院倫理審査委員会において、適切な研究であると承認されてい  
ます。この研究計画についてご質問がある場合は下記までご連絡ください。

連絡先：市立福知山市民病院消化器内科  
医師 岡 浩平 電話：0773-22-2101（代表）

研究責任者：市立福知山市民病院消化器内科  
医師 岡 浩平